

Friendly Awara

VOL.10



あわら市・紹興市友好都市締結30周年記念式典

平成 25 年 11 月 4 日



齊藤会長

～ごあいさつ～

会員の皆様にはおかれましては、本協会の事業推進及びあわら市・紹興市両都市間の相互理解と交流事業の促進にご協力を賜り心からお礼申し上げます。

さて、昨年は、昭和 58 年に旧芦原町と紹興市が永遠の友情を誓い合い、友好都市の調印締結を行ってから節目の 30 周年を迎えました。

このような中、11 月 4 日には、多くの会員の皆様のご列席のもと、紹興市人民政府 徐明光副市長を団長とする 16 名の訪問団をお迎えし、盛大に記念式典を挙行政いたしました。

また、本年 3 月には、昨年やむなく中止されたあわら市日中友好少年使節団の派遣も再開され、12 名の生徒が紹興文理学院附属中学校を訪れ、生徒間の交流も図ることが出来ました。

日中関係は依然として改善の兆しが見えない状況が続いていますが、この 30 年間にわたって積み重ねられてきた両市の交流の成果と藤野巖九郎先生と魯迅先生の精神をさらに発展させて、揺るぎない友好の歴史を築くため、努力を重ねて参りますので、皆様の一層のご支援とご協力をお願いいたします。

あわら市・紹興市友好都市締結30周年記念式典

徐明光紹興市人民政府副市長を団長とする 16 名の訪問団を招き、グランディア芳泉で 30 周年記念式典を開催しました。式典には、杉本福井県副知事、笹岡福井県議会議員、笹原市議会議員はじめ、日中両国から多くのご来賓や関係者が出席のもと、30 年間の交流を振り返りながら、藤野巖九郎と魯迅の師弟愛を起源とする両市の絆を再確認するとともに、今後綿々と続く友好関係を誓い合いました。

訪問団の行程

- 11月4日(日) 13:30～小松空港到着 あわら市へ
 15:00～表敬訪問
 16:00～あわら市・紹興市友好都市締結30周年記念式典・記念パーティー
 11月5日(月) 9:30～藤野巖九郎記念館視察後、富山県南砺市へ見送り



表敬訪問

あわら市に到着後、紹興市訪問団から表敬訪問を受けました。あわら市からは、橋本市長、笹原議長、北島副市長、寺井教育長、齊藤愛夫会長、久野・齊藤副会長が出席しました。

徐副市長と橋本市長があいさつを交わし、記念品を交換、その後は通訳を交えて両市の近況など、和やかに会談が進みました。

記念式典 2 部

式典を飾ってくれたのは、福井県三国町出身のシンガーソングライター・ヒナタカコさんです。彼女のオリジナルソング「いずこの空」の歌詞とメロディーが、藤野巖九郎と魯迅の師弟愛と重なることから、中国語での歌の披露を依頼し、実現しました。訪問団の皆さんは、ヒナタカコさんと芦原中学校少年合唱団の澄んだ歌声に真剣に聞き入り、最後は会場全体がスタンディングオベーションとなりました。



記念パーティー

あしばら太鼓、吉崎神楽、芦原芸妓と次々にあわらの伝統芸能を披露し、訪問団を歓迎しました。出席者はすっかり打ち解け、交流を楽しんでいました。

～ 惜別 CD を制作しました！～

この日披露された曲に、藤野巖九郎が魯迅に送った写真の裏書にちなんで『惜別』とタイトルをつけ、CD を制作しました。この曲があわら市と紹興市の友好の架け橋・シンボルとなることを願っています。



第 27 次あわらし日中友好親善少年使節団派遣

寺井靖高あわらし市教育委員会教育長を団長に、第 27 次あわらし日中友好親善少年使節団一行、生徒 12 名、指導者 3 名が紹興市を訪問しました。中国で多くの人と文化に触れ、成長した生徒さんたちの声を紹介します。

◆訪中団を通して感じたこと 出店 乃美



今回訪中団として様々な経験ができました。私の中では今まで中国のイメージはあまり良くありませんでした。しかし、今回の訪中団を通して中国という国の見方がすごく変わりました。訪問して、市の人や紹興市の文理学院附属中学校の生徒のみなさんの優しさがすごく伝わってきました。うれしかったことは、兄が訪中団員のとときにホームステイに来た生徒と会えたことです。私が手を振ったら相手の子も気が付いて振り返ってくれました。とてもうれしかったです。

◆中国を訪問して 見澤 篤

中国に行けたのはこの素晴らしい使節団のおかげだし、他にも僕を支えてくれる家族の皆や、周りにいてくれるあたたかいかけがえのない友達、地域の人たちや、あわらし市の市長をはじめ、あわらし市議会の皆様方のおかげで中国に行けたんだと思います。中国に行きこのことを一番感じました。過去に魯迅先生と藤野先生が築いた絆が、今もこのような日本中国友好親善少年使節団として残っています。それを途切れさせることなく、この使節団は中国と日本を繋ぐ良い架け橋になり続けて欲しいです。



◆日本と中国のつながりを感じて 土橋 香乃



紹興市文理学院附属中学校では、授業の体験の後に、芦原中と附属中の生徒とヒナタカコさんが一緒に、『惜別』を中国語で合唱しました。同じ言葉で歌っていると、両校が一つになったような、垣根が自然になくなっていった感じがしました。『惜別 (いずこの空)』の中にある、～いずこの空も繋がっている だからその声届いているよ～ まさに、この歌

詞の通り、日本と中国とが繋がっていると感じた瞬間でした。およそ 100 年前に魯迅と藤野先生が出会い、そして別れてもお互いを想っていた気持ちがわかるような気がしました。訪れて初めて気づいたこと、自分で体験したことで分かったことがあって、日本のよさにも気づくことができました。この貴重な体験の機会を与えてくださってありがとうございました。

橋本市長が紹興市を訪問

あわら市・紹興市友好都市締結 30 周年記念式典訪問への答礼を兼ね、橋本達也市長が友好少年使節団に同行しました。

紹興市では、少年使節団の交流事業を視察するとともに、昨年就任された銭建民中国共産党紹興市委員会書記を表敬訪問しました。

銭書記との会談では、今後も交流事業を積極的に展開し、揺るぎない友好の歴史を築くため、一層の努力を重ねることを誓い合いました。



巖九郎記念館から



あわら市観光協会職員 リュウ トウレン 劉 冬蓮さん

記念館が開館されて 30 年が経ちました。沢山の方々にご来館いただき、藤野先生と魯迅の温かく、美しい師弟関係を知っていただけたことに、心から感謝致します。来年の北陸新幹線開通や、今後のあわら温泉街の整備によって、もっともっと多くの方々にあわらへお越しいただき、藤野巖九郎記念館へもご来館いただけるように、今後も、皆様を暖かく迎え、ご案内に努めたいと思います。どうぞ、宜しく願い申し上げます。

来館者数 平成25年度 1,336 名 (内中国の方 188 名)
累計 41,764 名 (内中国の方 5,154 名) ※平成26年2月28日現在

〈平成25年度の主な事業内容〉

平成25年

- 4月25日 あわら市日本中国友好協会役員会 (文化会館)
- 5月30日 あわら市日本中国友好協会総会 (文化会館)
- 6月8日 NPO 法人福井県日本中国友好協会 通常総会 (福井県職員会館ビル)
- 10月21日 福井県浙江省友好提携 20 周年交流訪問団一行 36 名 藤野巖九郎記念館来館
- 10月21日 福井県浙江省友好提携 20 周年交流訪問団 2 名 市長表敬訪問
- 10月22日 福井県浙江省友好提携 20 周年「各界代表団」歓迎会 (福井パレスホテル)
- 11月4日 あわら市・紹興市友好都市締結 30 周年記念式典
(徐明光紹興市副市長 一行 16 名 グランディア芳泉 ~ 11 月 5 日)
- 12月18日 福井県日本中国友好協会理事懇談会 (福井県職員会館ビル)

平成26年

- 1月14日 2014 年新春講演会・懇親会 (ホテルフジタ)
- 3月16日 第 27 次あわら市日中友好親善少年使節団派遣
(団長 寺井靖高教育長 一行 16 名 ~ 21 日)
(橋本達也市長他事務局 2 名同行 ~ 19 日)

編集後記 紹興市との友好都市締結から30周年を迎え、今年度は多くの交流事業が行われました。これからまた40周年、50周年と互いに交流を深めながら、友好関係が発展していくことを期待します。